

vol. 40

The News Letter

2019 WINTER

一般社団法人 日本歯科審美学会
General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

学会短信

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 大槻昌幸



このニュースレターがお手元に届くころには、今年度の学術大会(2019年11月30日～12月1日、昭和大学)が成功裏に終えていることかと思えます。藤澤理事長のもと、日本歯科審美学会の活動が順調に行われており、会員の皆様におかれましては学会運営にご尽力を賜り、感謝申し上げます。

2019年8月には、本学会編の「歯科審美学」が永末書店から刊行されました。本学会で制定しました歯科審美学学習カリキュラム(www.jdshinbi.net/pro/curriculum/index.html)に基づき、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士を対象に編纂されたものです。ぜひ、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

また、歯のホワイトニング治療へのクーリング オフ制度の適用に対して、会員向けに「歯のホワイトニング処置の患者への説明と同意に関する指針」を作成し、2019年9月に学会ホームページ(https://www.jdshinbi.net/member/new_0829.pdf)に掲載しました。ぜひ、ご活用ください。

歯科専門医制度が大きな変革期を迎えております。本学会におきましても、専門医制度の創設に向けて検討を行っております。本学会会員の歯科医であれば安心して審美歯科治療を受けられる、また、本学会認定医(将来的には専門医)であれば信頼して治療を受けられるといわれるように知識・技能のみならず、コンプライアンス(法令遵守)にも長けた歯科医師を学会で認定できる制度を目指していきたいと考えております。残念ながら、医療広告・医療機関ホームページでは、「審美歯科」の表記について厳しく制限されております。「審美歯科治療とは何か」を患者さんにわかりやすく説明して、十分な理解を得たうえで、安心して治療を受けていただくことが私ども本学会およびその会員の責務であると考えております。今後とも、ご協力の程よろしくお願いいたします。

第31回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

大阪歯科大学歯科保存学講座 大会長 山本一世



元号が令和となって2年目となる来年、日本歯科審美学会第31回学術大会を開催させていただくこととなりました。会期は2020年10月3日(土)、4日(日)の2日間、会場は「奈良春日野国際フォーラム 薨~I・RA・KA~」です。この大会は日本接着歯学会第39回学術大会との合同開催で、接着歯学会側の大会長は本学会でも

お馴染みの、大阪歯科大学の末瀬一彦先生です。接着歯学会との合同開催は平成19年に寺田善博先生が博多で大会長として開催されて以来となりますが、審美歯科治療の発展は接着技法の進歩によるところが少なからずあり、両学会が合同で学術大会を開催することの意義は非常に大きいものと考えております。

「むし歯の洪水」といわれた昭和はるか遠くに去り、平成の



奈良春日野国際フォーラム



興福寺

時代には歯科口腔保健も大きく変化しました。平成28年度の厚生労働省歯科疾患実態調査によると、8020達成者は5割を超えたと推定されています。古来より歯の喪失要因の過半数を占めてきたう蝕と歯周病が治療中心から予防中心へとシフトし、歯があることが当たり前となった令和の時代には、審美歯科の重要性はますます高まり、国民の要求もさらに高度化することが予想されます。学術大会のテーマも末瀬大会長と相談し、「いにしへの都で新時代の接着審美を語ろう」といたしましたが、この合同学術大会に審美歯科治療・接着歯科治療に携わる多くの歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の方々にお集まりいただき、両学会をここまで大きく発展させて下さった先人の方々、現在の会員の方々、そして歯科医療関係者や企業の方々と一緒に、歯科医療における「審美と接着」について、現在と未来を熱く議論する機会にしたいと考えております。一般口演、ポスター発表のほか、特別講演や教育講演などの企画講演も盛りだくさんに準備させていただく予定にしております。

会場となる奈良春日野国際フォーラムは、ご記憶の方も多いと思いますが、平成23年に末瀬先生が大会長として開催された第22回学術大会会場であった奈良県新公会堂と、隣接する奈良公園シルクロード交流館が一体化し、平成27年にリニューアルオープンした施設です。奈良はご存じのとおり日本の起源であり、我が国を代表する観光名所の宝庫ですが、当会場の周辺にも奈良公園をはじめ、大仏殿を有する東大寺や五重塔のある興福寺、春日大社、奈良国立博物館、平城京史跡など、世界に名だたる施設が目白押しです。学会とともに、ぜひ古都・奈良の魅力も堪能していただきますよう、皆様の御参加を心よりお待ちしております。



東大寺の大仏



奈良公園の鹿

海外学会参加報告

IFED 2019 参加報告

大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野 若林一道

International Federation of Esthetic Dentistry (IFED) は、1994年にアメリカ (AAED)、ヨーロッパ (EAED)、日本 (JAED) の3つの審美学会により設立されました。今回、10月10 - 12日にスペイン バルセロナ Palau de Congressos de Catalunyaで開催された第11回IFED学術大会に参加しました(写真1)。本学会はSpanish Society of Prosthodontic and Aesthetic Dentistry (SEPES) の49回大会との併催で、初日はSEPES、2日目からは両学会の共催でした。

大会に先立ち理事会、総会が開催され、理事会には中村隆志 国際渉外委員長 (大手前短期大学)、総会には、田上直美 国代表 (長崎大、国際渉外委員会副委員長)、中村 (IFED理事) が出席しました。

今回の学会に参加し、驚いたことは、非常に多くの方々が参加されていたことです。今大会の参加者は3,000名以上とのことで、これほどの多くの方々が参加される学会はなかなかないと思います(写真2)。

学会としましては、SEPES初日のトップはIstvan Urban先生が務められ、ソーセージテクニックについての講演でした。



写真1

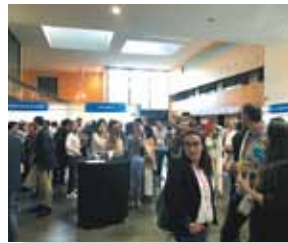


写真2



写真3



写真4

2日目からは、Dr.Dennis Tarnow、Dr.Ueli Grunder、Dr. Avishai Sadan、Dr.Ken Malamentなど、多くの著名な先生方の講演がありました。これまで、何度かIFEDに参加してきましたが、その年もしくは国で特徴があるようで、今回のスペインでの学会では、デジタルデンティストリーや、とりわけインプラントに関する講演がとて多いように感じました。海外の審美学会で、著名な先生方のプレゼンテーションを拝聴すると、内容もさることながら、スライドの美しさや流れも楽しむことができます。また、本学会ではポスタープレゼンテーションのディスカッションも盛況であったことも、感心したことの一つです。

ところで、本学会のプログラムなのですが、8時30分より講演が始まり、11時30分からコーヒーブレイク、そして14時から1時間30分弱ほどランチがあり、いくつかの講演のあと、17時から再度コーヒーブレイク、学会が終わるのが19時30分でした。あまりスペインの文化・風習を知らずに参加したため、お昼休み前後がとて長く感じましたのですが、インターネットで調べてみると

- ①7時～8時頃 Desayuno(デサジューノ)：朝食
- ②10時～11時頃 Almuerzo(アルムエルソ)：朝食と昼食の間にとる軽食
- ③午後2時頃 Comida(コミダ)：昼食
- ④夕方6時～7時 Merienda(メリエンダ)：昼食と夕食の間にとる軽食
- ⑤夜の9時以降Cena(セナ)：夕食

と、スペインでは1日5食を取ると掲載されていたので、プログラムのタイムスケジュールになるほどと思いました。

IFED 2021年大会はアラブ首長国連邦のアブダビで開催されます。日本からも多くの方の参加を期待していますとのことでしたので、会員の皆様も是非ご参加ください。



写真5



写真6

セミナー案内

2020年3月開催予定のセミナーに関するご案内

学術講演統括委員会 統括者 武部 純

今年度第1回目の学術講演委員会会議を2019年7月2日、日本歯科大学附属病院 会議室にて開催いたしました。当日は、藤澤政紀理事長(前期学術講演統括委員会委員長)にご出席を賜りまして、今期の歯科医師学術講演委員会、歯科技工士学術講演委員会、歯科衛生士学術講演委員会が初めて一堂に会し、合同会議を行い、今期の活動方針を協議しました。今期開催セミナーの骨子については、前期委員会での「審美を極める5回シリーズセミナー」が好評であったことから、その勢に乗って、前期から継続の先生方によるご意見、新委員の先生方からの積極的な意見が湧き出しました。委員の総意のもと、今期においても「極めるシリーズセミナー」を継続していくことが決定いたしました。さらに、次年度開催予定の第31回学術大会時の委員会企画講演についても検討いたしました。第1回目のセミナーを2020年3月29日(日)に日本歯科大学生命歯学部で開催いたします。テーマは歯科医師・歯科技工士向けとして「マイクロデンティストリーを極める」、歯科衛生士向けとして「メンテナンスを極める」です。今期は4回のセミナー、学術大会時企画セミナーを1回予定しており、前期委員会からの熱い想いを今期委員会も受け継ぎ、皆様には是非ともお届けしたく「極めるシリーズ」続編を計画しております。詳細は改めましてご案内いたします。委員会内には熱気があふれ、時間のたつのも忘れてエネルギーに満ちたメール会議が毎日のように続いております。皆様の関心を集めるセミナーになるものと思います。

今後も魅力ある企画を提案してまいります。会員の皆様からのご意見、ご要望等がございましたら、歯科医師学術講演委員会の石川明子委員長、歯科技工士学術講演委員会の石川功和委員長、歯科衛生士学術講演委員会の山羽京子委員長にお声がけください。



審美を極める5回シリーズセミナー報告・第5回の報告

歯科医師学術講演委員会 委員 佐藤洋平

5月26日(日)に日本歯科大学歯学部生命歯学部にて、『審美を極める5回シリーズセミナー』第5回を開催いたしました(第5回参加者：117名、シリーズ合計816名)。

歯科医師・歯科技工士セミナーのテーマは『デジタルデンティストリーで審美を極める』でした(コーディネーター：小林幹宏、佐藤洋平)。今回のセミナーでは小池軍平先生(神奈川県・小池歯科医院)、草間幸夫先生(東京都・西新宿歯科クリニック)、伴清治先生(愛知学院大学)、千葉豊和先生(北海道・西新宿歯科クリニック)、三輪武人先生(千葉県・共和デンタルラボラトリー)にご講演いただきました。デジタルデンティストリーにおけるワークフロー、材料そして臨床のカットングエッジをご講演いただきました。歯科衛生士セミナーのテーマは『超高齢社会において審美を極める』でした(コーディネーター：石野由美子)。セミナーでは山根源之先生(東京歯科大学)、水口俊介先生(東京医科歯科大学)、武井典子先生((公財)ライオン歯科衛生研究所)、花田信弘先生(鶴見大学)、星野友信先生((株)ジーシー)にご講演いただきました。超高齢社会において歯科衛生士へ求められる社会的ニーズ、口腔粘膜疾患、口腔機能と全身の関わりを中心に知識を深めることができました。

両セミナーとも多くの質問がなされ、大盛況となりました。アンケートでは第5回、そしてセミナー全体が総じて大変好評な結果を得ることができ、学会会員の皆さまのお役に立てたことは学術講演委員会としても大変嬉しく思います。



歯科医師・歯科技工士セミナーメンバー



歯科衛生士セミナーメンバー

セミナー報告

第48, 49回WC講習会・認定試験の開催報告

ホワイトニングコーディネーター委員会 委員長 大森かをる

第48回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験を、新執行部体制の第1回目の講習会として、2019年7月28日(日)に鶴見大学記念ホールで開催しました。半数の先生が今期初めてWC委員に就任されたため、全員が参加し講習内容の統一性を確認いたしました。この回では、274人が合格し登録手続が始まっております。また第49回同講習会・認定試験は、2019年10月20日(日)に大阪歯科大学創立100周年記念館で開催し、155名が合格されました。

講習会は開会の挨拶の後、「歯のホワイトニングの基礎」を佐藤祥子先生(昭和大学歯科病院)、下田哲子先生(東京歯科衛生士専門学校)が、続いて「歯のホワイトニング実践編」を山口麻衣先生(昭和大学歯科病院)、柵木寿男先生が講演しました。昼食をはさみ午後からは「ホワイトニングにおけるカウンセリングとケア」を永瀬佳奈先生(松尾歯科医院)、小野真奈美先生(あべ歯科クリニック)が講演し、次に「こんな時どう答える?—患者さんの質問に対して—」を大森かをる(鶴見大学)、金子 潤先生(千葉県立保健医療大学)がそれぞれ担当しました。質疑応答の時間には各回ともに、講義中や日常臨床での疑問点について活発な発言があり、その後60分間40問の試験を行いました。試験問題は毎回ブラッシュアップを重ねるとともに、講義での説明漏れを防ぐため、講習会当日に講師とのすり合わせを徹底しております。試験後にも受講者からの質問に当日の講師が対応し、次の日からの臨床に活かしていただいております。

今回のWC講習会・認定試験は、2020年1月12日(日)に福岡歯科大学講堂で開催し、新メンバーの須崎 明先生(パンダ歯科医院)と坂本奈津季先生(昭和大学歯科病院)も講演予定です。今年度最後は、3月22日(日)に日本歯科大学(東京)で開催予定です。

毎回、受講者からアンケートを回収していますが、厳しい感想、今後の要望等、多くのご意見をいただきます。これらを参考に歯科衛生士が求めていることを把握し、他の委員会とも連携してホワイトニングに関する新しい知識の普及に努めてまいりたいと思います。



優秀発表賞受賞者のご紹介

優秀発表賞(デンツプライ・シロナ賞)を受賞して

大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野 若林一道



この度は、日本歯科審美学会第29回学術大会で発表いたしました「新規CAD/CAM用ハイブリッドレジンブロックで製作したクラウンの破壊強度」に対しまして、優秀発表賞(デンツプライ・シロナ賞)という大変名誉な賞に選出していただき、光栄に存じます。

近年、CAD/CAM用ハイブリッドレジンブロックが臨床で用いられるようになり、日々、機械特性の向上が図られています。しかし、CAD/CAMハイブリッドレジンクラウンは脱離の問題もありますが、依然として破折の懸念も認められます。そこで、大白歯部への応用について示唆を得るため、3種類の新規CAD/CAM用ハイブリッドレジンクラウンについて、30日間の水中浸漬後に破壊試験を行いました。その結果、現在臨床で用いられているブロックで製作したクラウンは、十分な厚みを確保していれば、大白歯の最大咬合力に耐えうる強度を有していることがわかりました。本研究では自分が万能試験機の前に座り(当然といえば当然なのですが)、実験を行いました。やはり実験は楽しいです。破壊時には凄まじい音がでるため、耳栓をしながらの実験でしたが、その音を聞く度に、メーカーの方々品質向上に向けた日々の努力に感動し、私たちはその恩恵を受けていることを体で感じる事ができました。そして、国民の皆様に安心・安全な治療を提供するために、産学が連携していくことがとても重要であるものと考えています。

最後に、本研究に対しご指導いただきました矢谷博文教授、中村隆志教授、研究協力者の要 智子先生、工藤博貴先生、各種ご助言にいただきましたメーカーの方々、そして、ご助力頂きました多くの皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。



学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

前愛知学院大学歯学部教授・愛知学院大学短期大学部非常勤講師 千田 彰



この度は学会功労賞という身に余る顕彰を頂き、心からお礼申し上げます。私はIFED京都大会の少し前に本学会に入会し、その準備委員の一人として開催のお手伝いをさせて頂きました。またその第1回IFED世界大会（フィレンツェ開催）前に、出席される故平沼謙二先生にPLVの症例写真をお貸しし、審美学界の世界的な動向に触れました。

私の在外研究先、カナダWestern Ontario大学の故Ron. Jordan教授（Esthetic Composite Bondingの著者）が当時の歯科審美、接着臨床の世界的権威者の一人であったため、現在のMIと接着歯学を結びつけた臨床に違和感なく溶け込み、歯科審美についての保存修復学的あるいは健康美と結びつく研究と臨床技法の開発に取り組むことができました。またJordan教授とその長年のパートナーであったMike Suzuki教授の人脈によって多くの世界的に著名な先生方と交流できて、本学会の国際化に私自身も多少の貢献ができたと思っています。

学会創設以来、「歯科審美」「審美歯科」の定義については多くの議論があり、未だ明確な語義が示されているとは言えません。しかし学会活動を通して「外観あるいは修復治療の美しさ」のみでなく、「人々のより豊かで、より健康な生活に貢献するレベルの高い歯科医学、医療」であることが示されつつあります。

46年という長きに亘る大学での教育、研究、臨床生活を定年退職によって無事終え、学会活動からも引くことになりましたが、とくに大切に組み立てて頂いた日本歯科審美学会のますますの発展をお祈りします。



IFED第10回世界大会・Past Presidents' Event (2017年9月16日富山国際会議場)

学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 主任教授 佐藤 亨



このたび、栄えある一般社団法人日本歯科審美学会 学会功労賞を頂戴いたしました。関係各位に心から感謝いたします。受賞に際しまして、そもそもの私と学会との関わりを思い出し、ここに認めさせていただき

ます。

私は、2009～2011年に日本歯科審美学会会長を務めました。私の恩師である羽賀通夫先生が本学会の初代会長であり、私が第8代会長に就任いたしましたことは、本当にうれしく、また、万感の想いがこみ上げてまいります。会長就任時に、ご支援・ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

日本歯科審美学会は、1986年4月に東京歯科大学羽賀通夫教授と大阪大学丸山剛郎教授が会の設立に動き、1987年2月に第一回の世話人会が開かれました。私が31歳の時であり、同僚の野嶋昌彦先生とこの学会の事務局を務めることになりました。1988年4月の第1回審美研究会(東京)から、1992年5月の第3回日本歯科審美学会学術大会(名古屋)まで、約6年間、会議の準備・運営、会員管理等の仕事を野嶋先生と一緒にやってきました。同年7月に口腔保健協会に事務局を業務委託することになりましたが、それまでの約6年間の事務局の業務は大変でしたが、今から想えば、学会の礎を造る重要なものでした。学会功労賞受賞は、私とともに一生懸命に事務局業務に携わった野嶋先生と分かち合いたいと思います。

日本歯科審美学会のますますのご発展を祈念いたします。

委員会報告

編集委員会

会員の皆様におかれましては、平素から「歯科審美」の発行にご協力頂き有難うございます。2019年4月から、前編集委員長の新海航一先生から編集委員長を受け継ぎました。

編集委員会は、経験豊富な金子潤先生(副委員長)、高見澤俊樹先生、野本俊太郎先生、三浦賞子先生および長谷川優先生(幹事)に留任して頂き、新たな山口徹太郎先生、海老原隆先生、友田篤臣先生および鈴木雅也先生で構成されています。会員の皆様から投稿された論文を査読し、「審美歯科」の質の向上に貢献していきます。

「審美歯科」第32巻第1号を2019年9月に発行しました。この号では、総説1編、原著論文1編、臨床：症例報告4編(うち2編が認定医ケースプレゼンテーション)、特集2編、合計8編の論文が掲載されています。特集では、「審美歯科治療におけるインプラント」をテーマとして、2名の先生から「インプラント審美のためのティッシュマネジメント」と「審美歯科治療におけるインプラントの現状」についてご執筆頂きました。是非ご一読頂き、日々の審美歯科治療にお役立てて頂きたいと思えます。

「歯科審美」の充実を図るには、会員の皆様から多数の論文投稿が必要不可欠です。今後とも、ご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。(委員長 遠藤敏哉)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会(JAED)は、IFED(International Federation of Esthetic Dentistry)およびAAAD(Asian Academy of Aesthetic Dentistry)に組織加入しています。2019年の10月には、バルセロナで第11回IFED大会が開かれました。バルセロナ大会は、過去最大の約4,000名が参加しました。学会に先



IFED総会に参加したアジアの代表達

立って開かれた総会には国際渉外より田上直美副委員長と中村が出席しました。次回の第12回IFED大会は、2021年10月にアブダビ(アラブ首長国連邦)で開催されます。また、AAADの次回大会は、2020年10月にソウルで開催されます。

一方、JAEDは韓国(Korean Academy of Esthetic Dentistry)およびアメリカ(American Academy of Cosmetic Dentistry)の学会と姉妹協定を結んでおり、演者や論文の交流を進めています。2019年11月のKAED秋期大会(ソウル)では、日本の学会を代表して藤澤理事長が講演されました。さらに、2019年のJAED大会(昭和大学)では、AACDよりDr. S. Mistry(ムンバイ・インド)に講演いただきました。

審美関連の国際学会情報は、JAEDホームページに掲載いたします。ぜひご覧ください。よろしくお願いたします。

(委員長 中村隆志)

.....

国内渉外委員会

令和元年6月より、日本歯科審美学会 藤澤政紀 新理事長の下で国内渉外委員会委員長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。新委員の構成は、佐藤和朗先生(副委員長)、植松裕美先生、木暮ミカ先生、西谷佳浩先生それに齋藤功の5名です。歯科審美領域において経験豊富な先生方とともに委員会活動を遂行していけることは、大変心強くと感じています。

国内渉外委員会の主たる役割は、歯科医師とともに歯科界を担う歯科衛生士、歯科技工士を輩出する養成機関における「歯科審美学・臨床」に係わる出張講義の段取り、ならびに関連学会との連携促進への関与と伺っています。長年に渡って本委員会を牽引された福島正義 前委員長(現学会顧問)によるこれまでの事業計画を参考にしながら、「歯科審美学・臨床」をさらに適切に普及させるための新たな事業展開を模索できればと考えております。

6月の社員総会終了後、今年度における出張講義の希望の有無について上記養成機関(歯科衛生士学校165校、歯科技工士学校54校)に照会いたしました。その結果10月18日現在、歯科衛生士学校33校、歯科技工士学校2校より派遣して欲しい旨の回答があり、出張講義ご担当について快諾いただいている38名の代議員の先生方に順次ご依頼申し上げます。養成機関の存立地域を勘案してご担当の可否をお伺いしているため、複数回お願いしている方が何名かいらっしゃいます。ご公務でご多忙の折誠に恐縮ですが、ご賢察のうえ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(委員長 齋藤 功)

資格承認統括委員会

2019年8月8日に第46期認定医審査および第19期認定士審査(いずれも、症例提示および口頭試問試験)が行われました。その結果、第46期認定医として3名が、第19期認定士として4名(歯科技工士2名、歯科衛生士2名)が合格しました。また、年末から年初にかけて第47期認定医の審査が行われます。

2020年4月頃に、第48期認定医および第20期認定士の申請の受付を開始する予定です。詳細は学会ホームページに掲載しますので、認定医・認定士申請の資格があります会員各位におかれましては、奮って取得されますようお願いいたします。

なお、本学会は、一般社団法人日本歯科専門医機構の会員となりました。先般実施しました会員アンケートの結果も踏まえ、専門医制度の創設の検討を行っております。これにつきましては、学会ホームページ、ニュースレター等で会員の皆様に今後の経過をご報告する予定です。引き続き、認定制度へのご理解とご協力をお願い申し上げます。(委員長 大槻昌幸)

表彰委員会

会員、特に新たに入会した会員の積極的な学会への参加を促すため、新規に「新人発表賞」を検討しています。新しい表彰は2021年度の学術大会から実施できるよう、表彰委員会におきまして案を策定中です。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。(委員長 椿 知之)

規則検討委員会

本学会が平成27年4月1日付で一般社団法人化して早くも4年余りが経ちました。この間、任意団体時の規則・細則、内規や申合せ等を定款に整合するよう更訂し、それらを実際に運用しながら、業務執行をはじめとする学会運営が円滑に進むよう問題点を鋭意修正して参りました。現在のところ、代議員および役員を選任やその他会務の運営等は支障なく行われておりますが、今後もそれら規定文の更なる完成と円滑な運用を図るべく活動して参ります。法人化された本会の事業の運営・活動は社員総会によりますが、その基盤は会員一人ひとりの意志によってなされています。そのため、何かお気付きの点がありましたらどんな些細なことでも結構ですので、皆様からの忌憚のないご意見を是非ともご教示頂ければ幸甚です。

なお、当委員会のメンバーは、委員長：富士谷盛興、副委員長：吉山昌宏、委員：伊原啓祐、小峰太、林建佑(幹事兼任)、宮崎真至、向井義晴(敬称略、五十音順)です。どうぞよろしくお願

い申し上げます。

(委員長 富士谷盛興)

広報委員会

今回、ニュースレター第40号を無事に発行することが出来たことを深く感謝申し上げます。日本歯科審美学会と会員の皆様との間で、最新で速やかな情報の共有を行うため、定期的なホームページの閲覧および、学会からのニュースメールが配信されました際には、ご確認いただきますよう、よろしく願いいたします。会員の皆様に有益な情報をお知らせできるよう頑張っていきますので、広報委員会の活動にご助力賜りますよう、よろしく願いいたします。

(委員長 若林一道)

漂白治療の特商法適応に対するワーキンググループ

平成28年の特定商取引法の改正によって美容医療サービスが特定継続的役務に加えられ、契約期間が1カ月を超え、かつ金額が5万円を超える歯のホワイトニングはこの法律の適用を受けることになりました。そこで審美歯科医療の中で、歯のホワイトニングにおいても国民に対する責任と期待を担っている当学会では、「漂白治療の特商法適応に対するワーキンググループ」を立ち上げ、この法改正や社会的要請への様々な対応をまいりました。そうした中、特商法の内容も見据えた「歯のホワイトニング処置の患者への説明と同意に関する指針」をまとめ、その概要を先の第29回学術大会におけるシンポジウム「患者さんにとっての審美歯科治療－クーリングオフ制度と医療広告－」でご報告いたしました。さらにこの度、この指針を当学会ホームページ上に掲載し、会員専用ページにログインしていただくと自由に閲覧していただけるようにいたしました。

歯のホワイトニングは疾患に対する治療とは異なり、評価が患者の主観によるところも大きく、患者の期待していた結果や費用対効果との乖離から、術者が適切な処置を行っていたとしてもトラブルが生じやすいため、特商法適応の有無に関わらず、インフォームドコンセントの徹底が重要です。この指針に沿った説明をすればトラブルが避けられるというものではありませんが、術前に患者さんの十分な理解を得て高い信頼関係を築けるよう、この指針を参考にいただき、ご自身の医院の実情に合うようカスタマイズしてご活用いただきますようお願いいたします。

(座長 日野年澄)

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
石福金属興業株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



長田電機工業株式会社
長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://osada-group.jp/>



カボデンタルシステム株式会社オームコジャパン
カボデンタルシステム株式会社オームコジャパン
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35
御殿山トラスタワー15階
Tel: 03-6859-0065
<http://www.kavo.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<https://www.quint-j.co.jp/>



グラクソスミスクライン・コンシューマーヘルスケア・ジャパン株式会社
グラクソスミスクライン・コンシューマーヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4231-5108
<http://glaxosmithkline.co.jp/gsk-chj/>



クラレノリタケデンタル株式会社
クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>



サンメディカル株式会社
サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社
スリーエム ジャパン株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (コールセンター): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>



デンツプライシロナ株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel(フリーダイヤル): 0120-789123
<http://www.dentsply-sankin.com/dentsplysirona/>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel(フリーダイヤル): 0120-54-1182
<https://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513 京都第一生命泉屋ビル8F
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17-5F-6F

Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5

Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35

Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18

Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10

Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

Tel(コンタクトセンター): 0120-178-148
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

OptraGate®

立体構造のソフト開口器 オプトラゲート

口唇の排除に

ホワイトニング

ソフト 開口器

Moisture control
made easy

患者さんも、術者も、
ホワイトニングが
驚くほど **"楽"** になります。



開口だけでなく口唇をすべて保護。
ホワイトニングの薬剤やブラッシング指導時の
染め出し液等の口唇付着を防止します。



装着ビデオはこちらから

臨床試用品のご請求を承っております

当サンプル(臨床試用医療機器)は、医療担当者が当該医療機器の使用に
先立って、有効性、安全性等について評価するために臨床試用することを
目的とするものです。また、当該医療機器を既に採用している医療機関等
に対しては、重ねてのご提出はできません。また、1機関に対し、1つ
のご提供となります。

下記QRコードより、必要事項をご記入の上、ご請求ください。

サンプル受付
2019年6月30日まで



↑↑
サンプル請求
お問い合わせはこちら

※お問い合わせ先：東京総研口唇 / 販売名：オプトラゲート / 製造番号：1181K1004010001 / 一徳医療機器

www.ivoclarvivadent.jp

Ivoclar Vivadent 株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
TEL 03-6801-1301 | FAX 03-5844-3657

IP0000110

ivoclar
vivadent
passion vision innovation



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／藤澤 政紀

編集／一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

印刷／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/